

## 1 生物的防除法

### (1) 干渉作用を利用した防除方法

本法は、あるウイルスに感染した植物は、後から侵入した同種または近縁種のウイルスに感染しにくいというウイルス相互間の干渉作用を利用した防除法で、弱毒ウイルスをあらかじめ接種しておくことにより、圃場での野生の強毒ウイルスの感染を抑制する防除法である。

ア キュービオ ZY-02(ズッキニ黄斑モザイクウイルス弱毒株水溶剤)を用いた、ズッキニ黄斑モザイクウイルス (ZYMV) の感染によるキュウリモザイク病及び萎凋症の防除法

有効成分	接種方法			注意事項
	使用時期	使用回数	使用方法	
ズッキー ニ黄斑モ ザイクウ イルス弱 毒株 2002	穂木の子 葉完全展 開期又は 接木苗の 第 1 本葉 完全展開 期	1 回	①水を加え 5 倍希釀 液とし、固形物を完全 に溶解する。 ②その後広口の容器 に全量を移し、最終的 に 25 倍希釀液とす る。 ③この希釀液に添付 のカーボランダムを 加えてよく混ぜなが ら綿棒などを使い展 開した一対の子葉又 は第 1 本葉の全面に 有傷接種する。	a ズッキー黄斑モザイクウイルス の感染によるモザイク病及び萎凋 症の予防のみ効果がある。 b 接種により、生育期間中に一過性 の軽微な退緑斑を生じることがあ るが、その後の生育や収量に悪影 響を及ぼすことはない。 c 有効成分である弱毒ウイルスが、 人や動物に感染することではなく、 健康に悪影響を及ぼすことはな い。 d 使用に当たっては、使用量、使用 時期、使用方法を誤らないよう に注意する。